



政友会

(質問者：佐藤 泉 議員)



スポーツのまち古河の推進について

問 古河市はスポーツ推進計画が策定され、スポーツのまち古河の復活を目指しているが、会派で古河市サッカー場を視察したところ施設の現状に唖然とした。外トイレは閉鎖中、階段のタイルは剥がれ、管理棟はカビだらけでシャワー室は水しか出ない、トイレは全て和室など大変な状況だった。そこで、管理棟を新設し、同時に夜間照明の

設置を提案する。予算上、大規模改修ができない場合は、管理棟のトイレを和式から洋式へ、雨漏り修繕、シャワーのお湯が出る工事などを提案する。また、市は中央運動公園をスポーツ施設の拠点として整備する方向性だと思うが、ここにスケートボードやボルダリングができる施設の設置を提案するがいかがか。

答(市長) 古河市サッカー場は昭和57年に供用開始し、39年を経過した施設で、老朽化が顕著になっている。歴史あるスポーツのまち古河のシンボリック存在であった施設でもあり、利用者からの要望も踏まえ、先行してフィールド部分を人工芝に全面改修した。今後の取り組みとして、令和4年度に管理棟の防水

修繕工事を予定している。また1階トイレの洋式化およびエアコンの設置等については、利用者の意向を十分に踏まえながら、計画的に順次進めていきたい。

ボルダリングやスケートボード等のアーバンスポーツは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目に採用され、大変話題になり、手軽に親しめるスポーツとして普及が期待されている。市民のニーズを再検証し、実情に即した施設の在り方、設置場所等を含め、慎重に検討していきたい。



市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)



市政運営の基本方針について

問 ICTコンソーシアム(情報技術共同体)は第4次産業革命とも言われ、暮らしや産業等さまざまな領域でICTによる変革が進む中、地方自治はもちろん、地域産業におけるICTの有効活用による経営課題の解決と競争力の向上、それを担う人材づくり、またICTを活用したアウトソーシングや働き

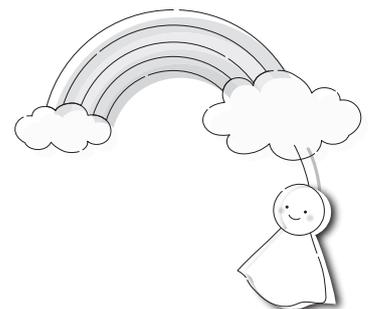
方の環境創出に向け、産官学民金連携により、情報交換や教育、研究、経済活動を行うことで、地域の活性化、相互の成長、発展が可能となる。

古河市においても当該事業は来年度で3年目を迎え、多くの事業運営に当たって産官学民金の連携が必要であると思うが、市長の御所見をお伺いする。

答(市長) 効果的なICT活用には、民間企業や研究機関等との連携が大変有益と考え、古河市IT戦略プランの中に連携強化を盛り込んでいる。既に公共Wi-Fiの設置やテレワークの推進をし、効果が出ている。今後はデジタルデバイド^(※)対策等で官民連携が不可欠であり、

早急に連携に向けた協議を進めたいと考えている。将来的には研究機関や金融機関等との連携も視野に入れており、持続的で実効性の高い官民連携の仕組みと実践を目指す。

市においてICTコンソーシアムを早々に設立する計画はないが、市の現状に見合った官民連携の形を求め、効果的な取り組みを進めたい。



※デジタルデバイド…情報通信技術(ICT)の恩恵を受けることができる人とできない人の間にもたらされる格差